総務文教分科会委員長報告

(H24.9.25)

総務文教分科会に付託されました、平成23年度一般会計、曾我部山林事業特別会計及び各財産区特別会計決算認定について、審査の経過概要と、その結果を報告いたします。

本分科会は、去る9月19日、20日、21日の3日間にわたり、各担当部課長等の出席を求め、書類審査を行い、予算執行が議決どおり適切かつ効率的に行われたか、また、限られた財源の中で、市民が期待する、行政効果が上げられたか等に主眼をおき、決算書及び主要施策報告書等関係書類をもとに、監査委員の決算審査意見書をも十分参考にして、慎重に審査を行いました。

平成23年度予算は、歳入の根幹をなす市税収入が3年連続で減収見込みとなる厳しい財政状況の中、地方交付税、臨時財政対策債など一般財源の確保等を図り、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～の始動年度にふさわしい予算とすべく編成されたものであります。

決算審査の結果、歳入面では、市民税は前年度に比して減額となりましたが、固定資産税、市たばこ税の増額等により市税全体では前年度に比して増額となり、地方交付税や元利償還金が交付税措置される臨時財政対策債、各種交付金等財源確保に努められ、歳出面でも、様々な課題が山積する中においても、計画的に市民福祉の向上に向けた事務事業執行に努められたところです。

その結果、実質単年度収支が2年連続黒字になり、財政厳

しい中においても健全財政を維持されたことは評価できるものであります。

今後も、あらゆる方面から財源確保に向けての努力を願い、財政健全化を望むものであります。

次に、歳出面での具体的な執行状況について、平成23年度一般会計決算の本分科会所管分歳出は、議会費、総務費、民生費、労働費、土木費、消防費、教育費等に及んでおります。その主な内容は、市の施策の基本である「安全安心のまちづくり」を進めるセーフコミュニティ事業の推進、国民文化祭に係る民俗芸能の祭典等の開催、コミュニティバス及びふるさとバスの運行事業、地域の安全を守るための消防団及び自主防災組織活動の支援事業、小中学校耐震化事業等々でありました。

採決に先立ち、総務費、特別職給与費において、市長、副市長退職金の支給割合の見直しや、市発注工事の落札率の高さに関しての反対討論がありました。

一方、賛成討論では、黒字決算であり、財政健全化比率に係る指標も良好であり、各費目において概ね適正に執行されているとの意見がありました。

採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

次に、曾我部山林事業特別会計決算は、適正な執行をされており、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、亀岡財産区ほか29財産区特別会計決算は、関係

地域における自治振興のための助成金、山林等の管理に要する財産管理経費等の執行をされたものでありますが、概ね適正な執行であり、採決の結果は、全30財産区特別会計いずれも全員をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本分科会の報告といたします。